

タイ・シンブリ校より サワディーノ

今年の5月からボランティア日本語教師としてタイ国立シンブリ中・高校に赴任している松並美美子さんよりメッセージが届きました。



「おはようございます。」「こんにちは!」シンブリ校の生徒たちの声がいろんなところから聞こえてきます。日本語を選択している生徒もそうでない生徒もみんなフレンドリー。日本に興味を持っていることを強く感じます。日本の若者の歌をダウンロードして楽しんでいる生徒もたくさんいます。日本の食べ物も大好きで、「Fumiko、お好み焼きは作れるか?」と何人も尋ねてきました。

日本の夏は猛暑だったと聞きますが、タイはもっと暑い。特に着任した5月は「暑い」と言った方がいくらいでした。外気温40度、息をするだけで汗が吹き出します。日本語の授業はエアコンのない部屋で行われることが多いのですが、よくがんばるなあと感じます。



巻き寿司に挑戦!

着任して5ヶ月、毎日が新鮮です。マイペンライ(気にしない、気にしない)で楽しく暮らしていこうと思っています。

フィリピン・ミンダナオ島 ココヤシプロジェクト報告

9月13日～19日、ミンダナオ島東ミサミス州カガヤン・デ・オロ近郊の3つの農園を訪れてきました。今年度国際ボランティア貯金の配分金をいただいて実施しているココヤシ苗木プログラムの進行状況を確認するためです。東南アジアでは「命の木」といわれ人々の生活に欠かせないものですが、100年生きる木が材木用にどんどん切り倒されています。この夏に植えられた苗木が実るにはまだ5年ほど時間がかかりますが、その成長が楽しみです。現地の人々の笑顔につながる活動がココヤシを通してできるのが今回のプロジェクトの魅力と言えるでしょう。



現地の人々の笑顔につながる活動がココヤシを通してできるのが今回のプロジェクトの魅力と言えるでしょう。

(細貝瑞季)

TIFA 会員を募集しています

■正会員…入会金 2000 円 年会費 6000 円(月 500 円)

TIFA で実際に活動を行う会員です。何かやってみよう方はぜひ!

■賛助会員…年会費 一口 3000 円 TIFA の活動を資金面で支援していただく会員です。ニュースレター等をお送りします。

■寄付…金額は自由です。活動に大切にに使わせていただきます。入会方法など、くわしくは TIFA 事務局にお問い合わせください。

参加者募集!

曜日や場所は予告なく変わることがあります。TIFA 事務局 (Tel. 06-6840-1014) にお問い合わせください

**ワールドクッカー
ベトナムの家庭料理とお話**

11月27日(土) 10:30~14:00
場所:とよなか国際交流センター 料理室 参加費:1500円 要申込み

レッツ・コミュニケート

毎週火曜 中級 9:30~10:40
初級 10:50~12:00
場所:とよなか国際交流センター
講師:ジェイソン先生
国際交流のためのコミュニケーション力をつけましょう!(参加費:月4回 5000円)

元気の出る英会話

毎週木曜 初級 9:30~10:40
中級 10:50~12:00
場所:とよなか国際交流センター
講師:ピーター先生
国際交流のために、まず「元気」に話しましょう!(参加費:月4回 5000円)

多文化子育てサロン

毎月第1・3木曜 10:00~12:00
場所:とよなか国際交流センター
外国人親子の交流の場です。家にこもってないでいっしょに楽しく過ごしましょう!

環境井戸端会議

毎月第3日曜 12:30~14:00
場所:グローバルとよなか
地球規模の環境問題を学び、今私たちにできることを考えます。お気軽にご参加を。

グローバルバザー

毎月第3日曜 10:00~12:00
場所:グローバルとよなか
衣類・アクセサリー等の新品が出ます。新鮮野菜や手作りお菓子もお楽しみに。

発行: 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか

TIFA (国際交流の会とよなか)は、豊中市にて1985年11月に発足しました。メンバーと地域に住む外国人が協力し、言葉や文化、国籍が異なる人たちがともに生きやすい社会の実現を目指して活動しています。

事務局 〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚 4-7-17-109
Tel/Fax: 06-6840-1014 E-mail: tifa99@nifty.ne.jp
お問合せ、お申込みは 月~金曜 09:30~17:00
ホームページ: http://homepage1.nifty.com/tifa/

最新のイベント情報はホームページをご覧ください



Toyonaka International Friendship Association

TIFA ニュースレター vol.23

特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか 2010年10月 発行

特集

第4回 TIFA 国際子どもキャンプ報告 (2面)
バーモント州教員研修受け入れ報告 (3面)



ネパール・プロジェクトより

国際交流の会とよなか(TIFA)は、①在住外国人支援 ②国際理解 ③国際交流 ④国際貢献 の4本柱で活動しています。

国際貢献活動はネパールで次のような支援を行っています。

- ①ドダウリ村での職業訓練センターの建設と支援、診療所の建設と支援
 - ②シンズリマディでの孤児院「HAPPY GIRLS HOME」の運営支援
 - ③カトマンズでの「自立センター」運営支援と郊外にあるサクーの奨学金支給
- これらの活動を各方面からのご支援を得て、現地の NGO と協議しながら実施しています。

「子どもの家」(HAPPY GIRLS HOME) からの最新レポート

10月はじめに、現地を訪問し、洋裁等のアドバイス・指導をしてきました。女の子の孤児院「子どもの家」では、今年10年生を卒業した5人の子たちがそのまま残り、地域の伝統的な絵画「ミティーラアート※」や日本の高校から注文を受けた小袋づくりなどに励んでいます。来年卒業する3名のほかに、入所したばかりの小さい子も含めて10名、全部で18名が共同生活をしています。来たばかりの子達は、学校へ行け、食事もでき、仲間がいるので、大変うれしい!!と話しています。

政府が機能していないネパールでは、何事も公に頼らず自力で暮らしていかなければならないので、村人たちが話し合って運営しています。TIFA は子どもの家設立から11年支援し、この間、自立した運営をうながしてきましたが、諸般の事情により、支援はぜひ継続してほしいと懇願されました。

(田中寿美・葛西美紗)



ミシンの練習に励む年長の子どもたち。一日の半分以上が停電で、足踏みミシンが大活躍。

※ミティーラアートとは、ネパールのジャナクプル地方(子どもの家がある地域)に古代から伝わる伝統的な画法。家々で女性によって代々受け継がれてきました。



デザイン祭のためのおそろいの服を着て記念撮影

ネパールの女性や子どもたちへの支援にご協力を!

皆様からの会費やご寄付は「子どもの家」の運営や奨学金、女性の自立支援等のために大切にに使わせていただきます。息の長い支援を続けるために、ご協力をお願いいたします。

TIFA ネパールプロジェクト後援会

年会費 : 一口 5000円
一般寄付: 随時(金額は自由です)
送り先: 郵便振替 口座番号 00950-5-140680
加入者名 TIFAネパールプロジェクト

子どもたちの「世界へのドア」を開く

2010.8.23 ~ 8.25 豊中市立青少年自然の家 わっぱるにて

第4回目の今夏のキャンプには小中学生80人が参加し、A~Eの5グループに分かれて講師の外国人とともに2泊3日を過ごしました。今回より新しい試みとして中学生だけのグループを作り、子どもたちの年齢差に対応するプログラムを企画しました。外国の文化をより深く学び、講師のアシスタントとして小学生の世話をするなど、中学生の活躍は期待以上で、小学生からも尊敬のまなざしが向けられました。猛暑の中、子どもたちの水分補給に追われた3日間でしたが、参加したスタッフのあいだでは早くも来年の構想が話題になっています。



ベトナム・中国・内モンゴル・ドイツ・タイ・ペルー・韓国・アフガニスタン・ブラジル・グアテマラ・マレーシア。今年の講師は愉快的なチーム！



アフガニスタンについてのレクチャーを熱心に聞く子どもたち



世界の料理作りでは男の子も大活躍。みんなで手分けして、とてもおいしくできました！



外国人講師の感想より

- * 子どもと一緒に過ごした時間を一生忘れない。いい思い出を沢山作りました。
- * 子どもたちと一緒にいっぱい遊び、いっぱい走ったので、大変疲れましたが、とても楽しかったです。
- * 子どもたちに注意したり命令したりするのが一番難しいことでしたが、日本人スタッフが手伝ってくれたので助かりました。感動体験になりました。
- * 子どもたちにとって私は先生じゃなく友達と思われていたようです。
- * 料理を一生懸命手伝ってくれて、おいしそうに食べてくれて、嬉しかったです。
- * 一番よかったのは、子どもたちに外国人に対する先入観がまったくないという事実を知ったこと。こういう体験は日本の未来にとって大切だと思います。



お国自慢大会では、講師から習った言葉や歌や踊りをみんなの前で発表しました。(写真はモンゴルの民族衣装を着た子どもたち)

<TIFA国際子どもキャンプは、(独)国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」より助成を受けて実施しました>

活動報告

■在住外国人との交流バスツアー

5月22日(土)快晴の中、総勢49名で滋賀方面へ。最初に訪れた「ミホミュージアム」では、建物と展示品の美しさに感激！信楽の窯元で「ためき」の大群に迎えられ、甲賀流忍者屋敷では手裏剣投げに挑戦しました。バスの中でもにぎやかに交流し、リフレッシュできた楽しい一日でした。



■日本語ボランティア実践研修

5月から9月にかけて、文化庁からの委託事業として、日本語を教えているボランティアの研修を7回実施しました。ロクガマガ、岡田、西口先生や教室で学んだ先輩外国人の体験などの話を聞き、受講者にとって、より効果的な教室になるよう実践につなぐ予定です。



■アフガニスタン学習会

9月12日(日)、アフガニスタン西部の都市ヘラートにて孤児院および女性の自立支援活動をされている「ラーラ会」代表 柄子真弓さんを奈良県生駒市よりお招きしました。数々のエピソードを交えてのお話の後、「支援の秘訣は人柄のよい現地人パートナーを見つけること」と締めくくられました。今私たちにできることは、アフガニスタンを見捨てないこと、アフガニスタンの人たちを思いやることではないでしょうか。



■国際理解講座

TIFAでは、小学校の子ども教室等で定期的に国際理解教室を担当しているほか、地域の公民館や中学・高校への外国人講師派遣も行っています。〇ヶ国の講師を紹介してほしい、英語圏の人を、年少の子どもたちを遊ばせてほしい、等々、さまざまな要望をいただいています。参加者だけでなく外国人講師にとっても身のある経験になるよう、親身なコーディネート心がけています。お気軽にご相談ください！



■多文化子育てサロン

毎月第1・第3木曜日の午前中に集まっています。9月は手作りおもちゃ「にじのたまご」を作りました。これからの計画もみんなで相談中。着付け・リトミック・ハイキング・多言語で読み聞かせなど、たくさんのアイデアが出ています。ぜひ一緒に楽しみましょう！(日本人はスタッフとしてお手伝いいただきます。)



バーモントの先生との交流

University of Vermont Asian Studies Outreach Program ヴァーモント州公立学校教員日本研修プログラム 2010年7月9日~17日

TIFAでは、1999年より米国バーモント州からの教員研修チームのホームステイや日本文化紹介を引き受けています。10回目となる今回、12人の先生方にさまざまな日本文化体験プログラムを提供しました。



Messages



TIFAの寛容さと、私ならびにASOPメンバー全員への多くのご親切にいつも圧倒されるばかりです。心の底から感謝申し上げます。
— シャロン (リーダー)



私が日本で学んだことを授業に持ち帰ることを楽しみにしています。そして日本で過ごした3週間を大切にしています。
— エリック



私のお気に入り、原田城址を訪ねた日のことです。素晴らしいお家の中で伝統的な日本の文化を体験しました。なんて最高の日だったでしょう！◎
— リサ



心地よく私を受け入れてくださったホストファミリーに感謝いたします。ここ豊中で、穏やかな個人の生活体験をさせていただきました。ありがとうございます！
— ダイアン

昨年はTIFAのメンバーがバーモントを訪問して交流しましたが、今年はまた新しい先生方が豊中に来られました。ホームステイをはじめ、伝統文化のワークショップ(日本料理・書道・茶道・華道・折り紙・日本舞踊・津軽三味線等)、交流パーティーなど、会員の力でできるかぎりのプログラムを提供しました。複雑な世の中でこそ、互いの文化に直接触れ、理解を深めることは大切なことです。「市民どうしのつながりで平和な世界を作りましょう」と皆で握手してお別れしました。



日本語交流サロンに参加して熱心に日本語を練習



ゆかた姿で盆踊りを楽しみました(原田城址・羽室邸にて)



お茶席のあと、穏やかな笑顔で(田村邸にて)



三味線のレッスン(羽室邸にて)